

防災通信 アナタガ

令和3年9月3日 人吉高校 定時制

9月1日は「防災の日」でした。令和3年度の「防災週間」は8月30日（月）～9月5日（日）となっています。さて、防災の日ですが、1960年に制定されています。防災の日がなぜ9月1日になったのか、それは1923年に大被害をもたらした『関東大震災』に由来しています。また、古くから伝わっている『二百十日』も、9月1日が防災の日に選ばれた由来とされています。二百十日とは立春から数えて210日目にあたる、現在の暦で9月1日前後の時期は、古くから台風が襲来し、稲作などが大被害を受けやすい厄日とされていました。

防災の日が制定される決め手となったのは1959年の「伊勢湾台風」です。伊勢湾台風は、明治以降に襲来した台風の中で最も多い犠牲者を出した台風です。台風の規模自体は、観測史上最大とされていた台風と比較すると、半分程度でした。勢力がそれほど強くないにもかかわらず想像を絶する犠牲者が出た要因は、高潮の発生と臨海の低平地エリアの堤防が崩壊したことと考えられています。これらの被害を受けたことが、それまで不十分であった防災対策を見直すきっかけとなり、防災の日の制定にもつながったのです。

以下に地震と台風に対する備えについて掲載しています。該当HPのQRコードも添付しています。いざというときに慌てないですむように、この機会に確認して準備をしておいてください。

「地震に対する10の備え」(東京消防庁HPから)

身の安全の備え

- ・家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう
- ・ケガの防止対策をしておこう。(ガラスの飛散防止対策をするなど)
- ・家屋や塀の強度を確認しておこう

初動体制の備え

- ・消火の備えをしておこう
- ・火災発生の早期発見と防止対策をしておこう
- ・非常用品を備えておこう

確かな行動の備え

- ・家族で話し合っておこう
- ・地域の危険性を把握しておこう
- ・防災知識を身につけておこう
- ・防災行動力を高めておこう



台風への備え 5箇条(宮古島気象台HPから)

- ・家の外の備えを行う(大雨が降る前、風が強くなる前に済ませる。)
- ・家の中の備えを行う。
- ・避難場所の確認を行う。
- ・気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」などの情報の入手を行う。
- ・台風接近中は不要な外出を控え、危険な場所へは近づかない。